

つながりを科学する



アイデア生まれる、広がる

# SCB innovation academy fukuoka

科学的にイノベーションが起きる仕組みを学ぶ。  
イノベーションアカデミー福岡校 2020.4月開校

## イノベーションアカデミー概要資料



## デジタル時代の基礎教養 つながりを科学する

### our mission

社会をイノベートするつながりを作る。

どうすれば新たな価値を生み出すアイデアを見つけられるのでしょうか？

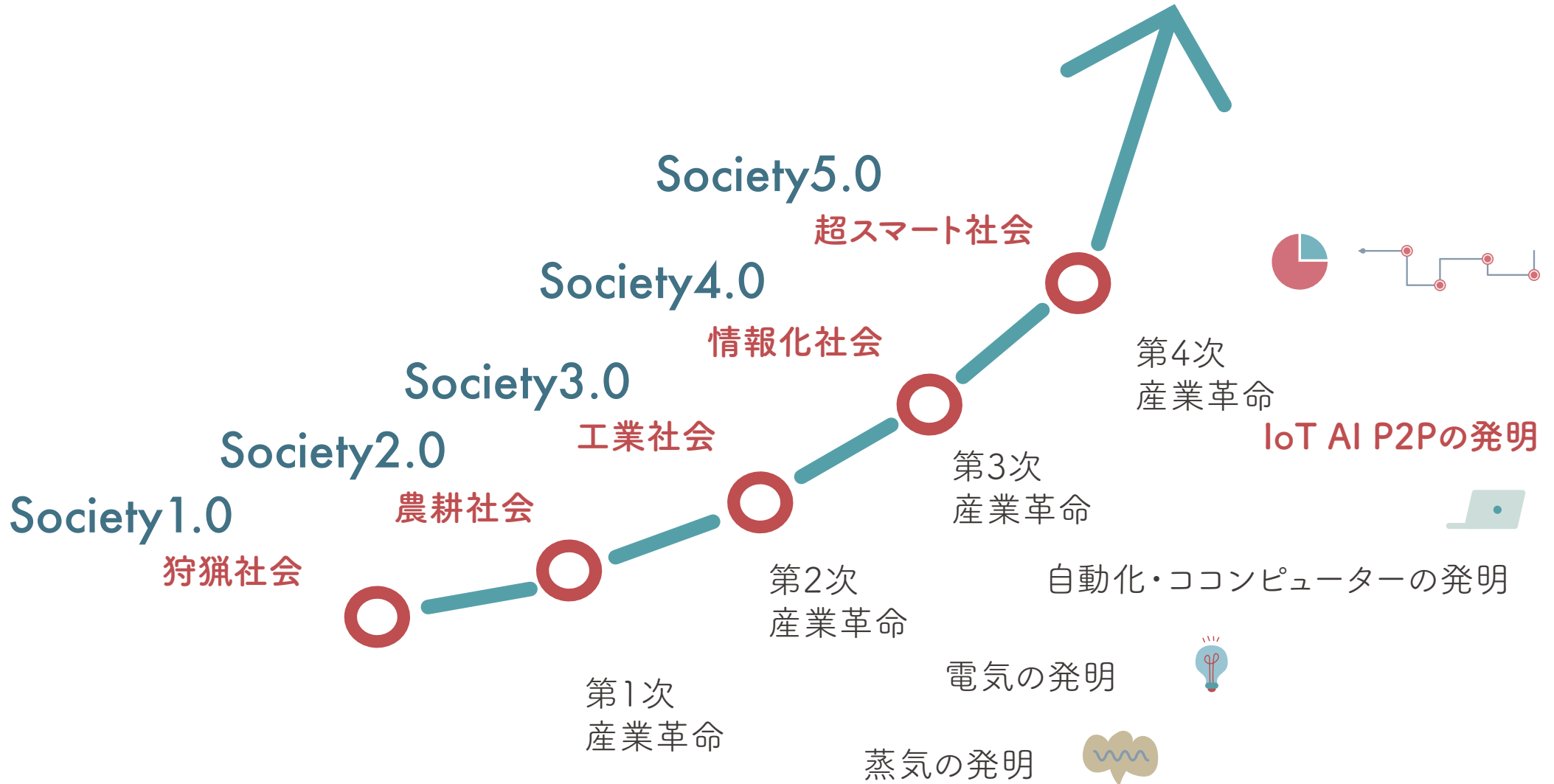
産業界に対する知識や知恵、新しい技術に対する知識を深める必要がある一方で、産業界や技術に対する固定概念を壊し、新たな価値観を作ることも重要です。

私たちは新結合によるイノベーションを生み出す理論と実践を行うコミュニティの運営とメンバーの活動への少額出資により、アイデアの実験・実証をサポートすることで、アイデアが生まれ・アイデアが広がる社会を作っていきます。

全ての産業がICT化、新たなリベラルアーツ

---

技術革新の歴史



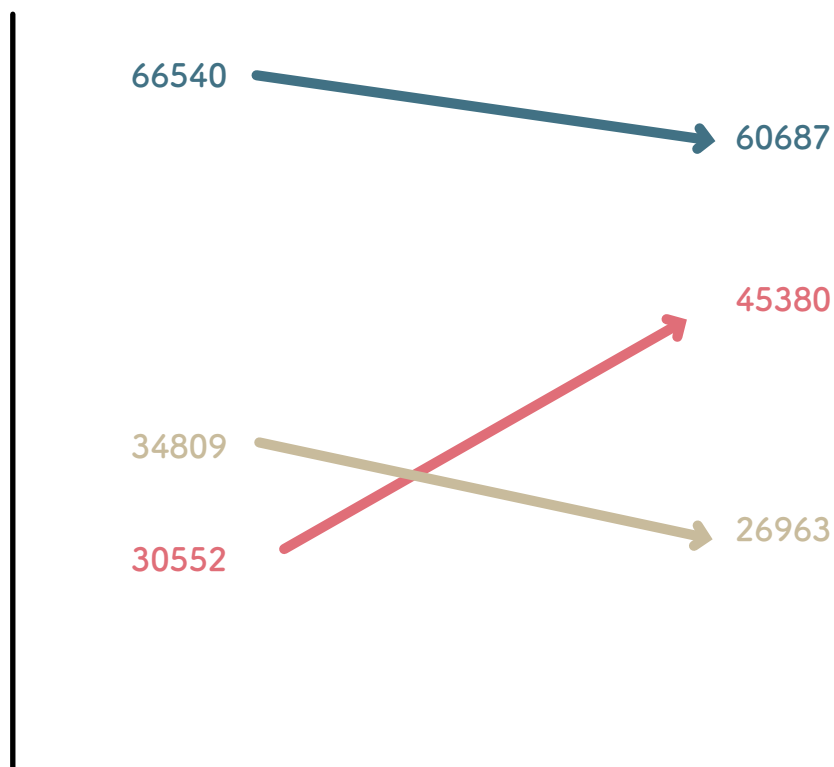
「第4次産業革命」とは、18世紀末以降の水力や蒸気機関による工場の「機械化」である第1次産業革命、20世紀初頭の分業に基づく電力を用いた「大量生産」である第2次産業革命、1970年代初頭からの電子工学や情報技術を用いた「自動化」である第3次産業革命に続くもので、新たに大量のデータの取得・分析・実行が可能になる急速な技術革新を指す。図にある通り「相互協調」「自律化」「高度化」をキーワードとし、機械が自ら判断・機能することなどが可能に。

その核となる技術革新は、

- あらゆる事業・情報が、ネットワークを通じて自由にやりとりできる「IoT（モノのインターネット）」
- 集まった大量のデータを分析し、新たな価値として利用可能になる「ビッグデータ」
- 機械が自ら学習し、人間を超える高度な判断が可能になる「人工知能（AI）」
- 多様で複雑な作業についても自動化が可能になる「ロボット」



全てのモノを自律分散協調でつなげる「P2P」  
ブロックチェーンや Skype、SNS、  
仮想通貨、P2P 保険など基盤技術  
さまざまな分野でイノベーションを創発



2000→2016

### 日本の産業別実質GDPの推移比較

(情報通信白書2016 | 単位:十億円、2011年価格)

**118%**  
情報通信産業  
(14828)

**-88%**  
商業  
(-4926)

**-85%**  
対個人サービス  
(-7846)



### 全ての産業がICT化する時代に求められる新しい教養

- ・深い人間への理解と社会の流れを把握し、「問い」を再設計する力
- ・ICT技術に対する知識や活用の知恵

街、医療、移動、商業etc



全ての産業がICT化する時代



求められる知識や知恵、技術が変化



イノベーションとは何か？

---



## Innovation: 技術革新と新結合

### 技術革新

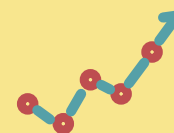


#### technological innovation

技術の進展により新たな価値を生み出す

output → 特許

### 新結合



#### new combination

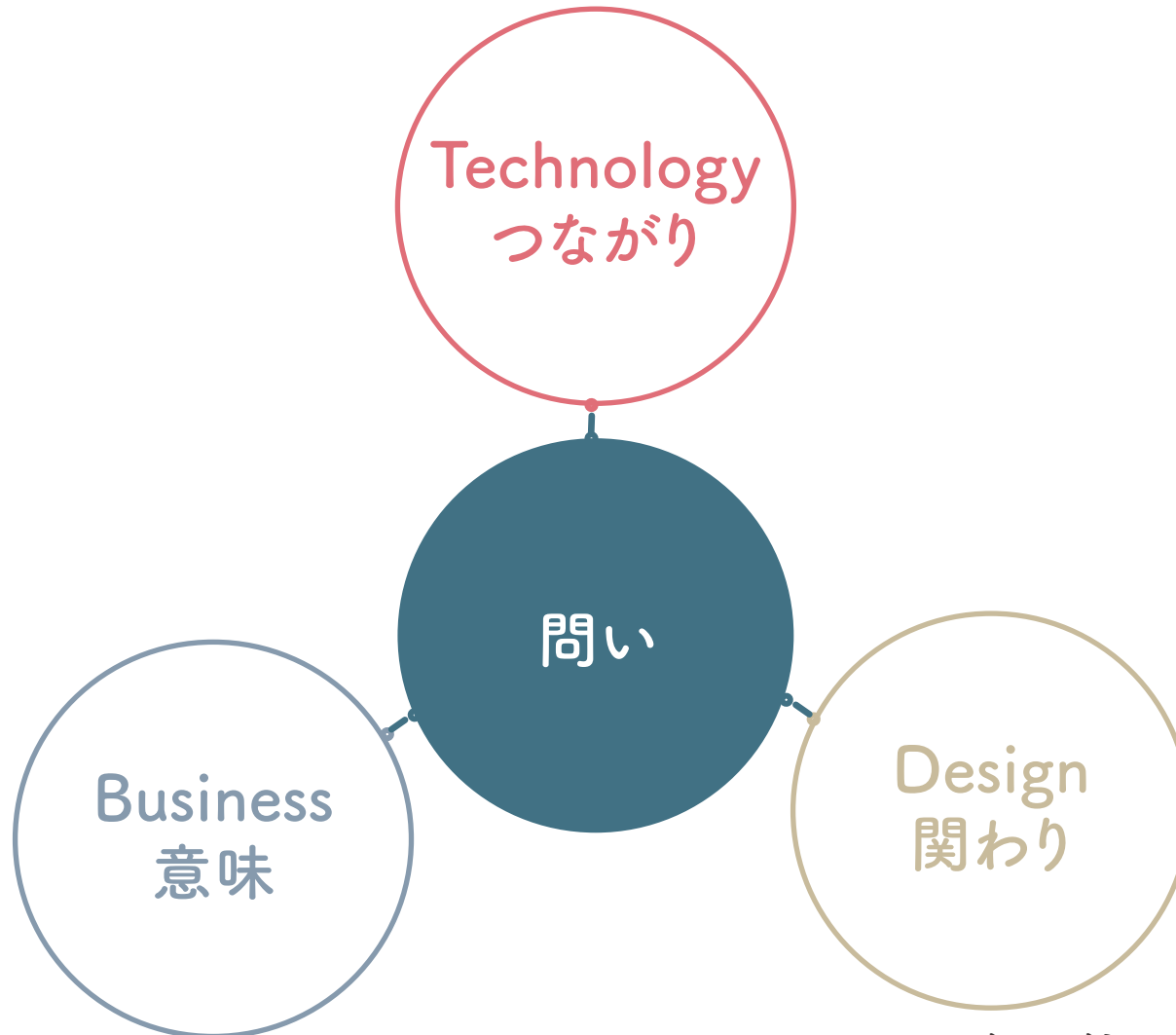
新たな「つながり」により新たな価値観を創出

output → 実用新案

技術革新は、技術の進展により新たな価値を生み出すことであるが、これを個人や地域で実現することは容易ではない。一方、新結合では、新たな技術や資源を生み出すのではなく、新たな「つながり」により新たな価値観を創出する。すでに存在している技術や資源を新たな観点に基づいて「つなげる」ことにより、新たな価値を創出するのである。

どうすれば新たな価値を生み出すアイデアを見つけられるのでしょうか？

日々変化する社会に合わせて、問いを学び、自身や組織をアップデートし続けること



テクノロジー、ビジネス、デザインの3つの側面から学び・実践するプログラム

新結合によるイノベーションを学ぶアカデミー

---

つながりを科学する

## SCB innovation academy FUKUOKA

 **校長** 一般社団法人SCBラボ理事 / SCB理論提唱者  
星合 隆成 (崇城大学 情報学部教授)

 **副校長** 飛田 努 (福岡大学 商学部准教授)

 **事務局長** 矢野 裕樹

 コミュニティマネージャー・ブックセレクター・個人研究指導員

“つながりの科学”理論からイノベーション創発を学ぶ。

学び直し・学びの習慣化



イノベーション創発の  
学びのプログラム

**Point1**

学びを通じたコミュニティ



オンラインサロン

**Point2**

多様な学びの機会提供



オンライン  
動画講座

**Point3**

リアルな学び場とICTツールを使ったオンラインでの学び・交流の場。

The Company  
Work Link.

zoom



YouTube

## イノベーションアカデミー福岡

  
カリキュラム  
提供

ソフトバンク  
ICTツール、新規事業立案、事業計画サポート


フューチャーセッションズ  
イノベーションファシリテーター育成カリキュラム

多彩な外部講師

  
施設

The Company    キャナルシティ博多前  
Work Link.        福岡パルコ

  
連携

 九州アートディレクターズクラブ  
代表 梶原道生

※人材交流・カリキュラム連携

  
活動資金  
調達支援

FAAVO博多    FAAVO博多代表 武耕太郎

クラウドファンディングによる資金調達サポート

  
補完

教育機関、社会人大学etc


福岡市内の地域経済活性化・地域問題解決

全国の地方都市へイノベーション理論の普及  
▶イノベーションアカデミー運営フォーマットの開発・提供など

イノベーション施設とオンラインプラットフォーム  
講義とリアルコミュニケーションが行われる施設

The Company キャナルシティ博多前  
住所:福岡市博多区祇園町8-13 第一プリンスビル1F・2F



The Company  
Work Link.

<https://thecompany.jp>

The Company 福岡PARCO  
住所:福岡県福岡市中央区天神2丁目11-1 福岡PARCO新館5F



※開校スケジュールにより、どちらか1施設での講座開校

遠方から参加もでき、事前予習や復習もできるオンライン

zoom

講義のリアルタイム視聴・質問

YouTube

反転学習や講義内容が  
身につくまで何回でも学習できる  
MOOC

f

講義内容に関して、対話を行うための  
オンラインサロン

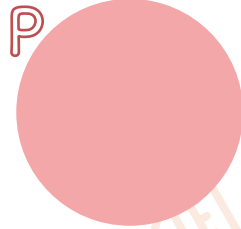
professor 多様な講師陣

---



馬場博史

ICTツール活用、事業計画、事業アイデア創出講座担当  
ソフトバンク



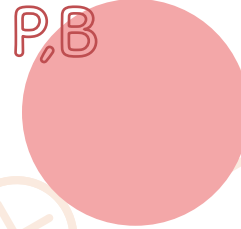
有福英幸

イノベーションファシリテーター講座担当  
フューチャーセッションズ



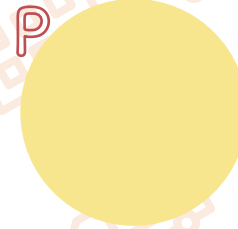
森田泰暢

サービスデザイン  
研究指導員  
福岡大学商学部准教授



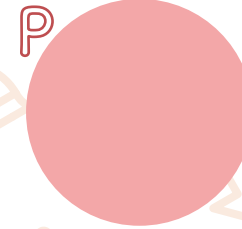
八木田一世

デザイン概論・  
seda\_emulsionモデル  
プロジェクティスタ



杉本宏幸

マーケティングモデル  
マーケティングリサーチ  
福岡大学商学部教授

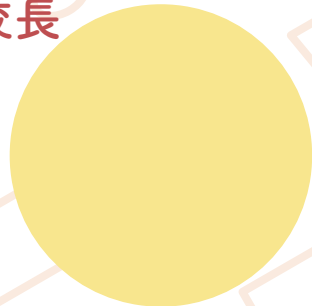


ゲスト講師

プレゼンテーション、ビジネスライティング、クラウドファンディングなど多様な  
ゲスト講師陣

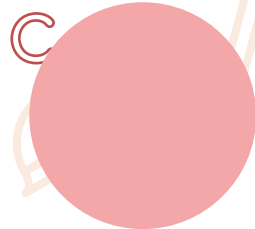
# professors

校長



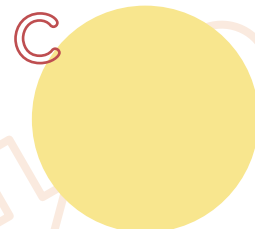
星合隆成

SCB理論、イノベーション創発理論  
世界で初めてP2Pの提案者



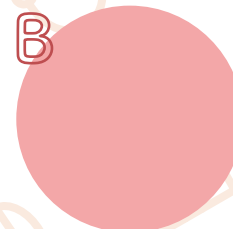
矢野裕樹

事務局長  
SCBイノベーションアカデミー福岡代表



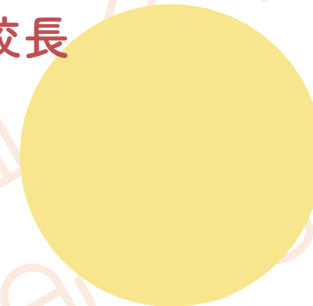
内藤豊

コミュニティマネージャー  
ブックセレクター



川島豊

副校長



飛田努

ビジネス理論・スタートアップ  
福岡大学商学部准教授

P・・・カリキュラム担当講師

B・・・ブックセレクター

C・・・コミュニティマネージャー

## 校長 星合隆成

1998年に世界初のP2Pネットワーク技術である「ブローカレス理論&SIONet(シオネット)」を提唱。現在、P2P技術を地域活性化・地域創生に活用する研究を進めている。このP2P技術に基づいて、人的ネットワークの構築、地域コミュニティの醸成、地域資源の繋がりを実現するための理論が「地域コミュニティブランド(SCB)」である。

関連著書「つながりを科学する 地域コミュニティブランド, 木楽舎(2018.10)」

### プロフィール

工学博士,崇城大学情報学部教授(2012~),早稲田大学招聘研究員。

コンセプトラボ(株)取締役.一般社団法人ジョブラボぐんま監事.一般社団法人SCBラボ所長・理事,イノベーションアカデミー校長,元NTT研究所主幹研究員・参与,NTT在職中(1986~2012)に,ベルコミュニケーション研究所客員研究員(米国留学),群馬大学客員教授,日本大学非常勤講師.総務省ICタグと自律分散協調ネットワーク調査検討会委員,経済産業省次世代型新IT環境研究会委員,群馬県「地域における通信と放送の融合に関する委員会」座長代理,経済産業省「まちげんきフェス」スペシャリスト,総務省プロジェクトFed4IoT諮問委員会委員,(社)電子情報通信学会代議員・運営委員・通信ソサイアティ幹事などを歴任.(財)日本情報処理開発協会・(社)電子情報技術産業協会・(財)デジタルコンテンツ協会などの特任講師などを務める。世界初のP2Pネットワークであるブローカレス理論・SIONet(シオネット)の提唱者。現在は,P2Pを地域活性化に活用する「地域コミュニティブランド」の研究を進めている,主な著書に、『ブローカレスモデルとSIONet』(オーム社,2003),『つながりを科学する 地域コミュニティブランド』(木楽舎,2018)など。





## 副校長 飛田 努

福岡大学商学部経営学科 准教授

1974年生まれ, 神奈川県出身

1997年立命館大学経営学部卒業後, 準大手証券会社に勤務。1999年に大学院へ入学。

2004年立命館大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了, 博士(経営学)。

その後, 東海大学(熊本キャンパス), 熊本学園大学を経て, 2012年より現職。



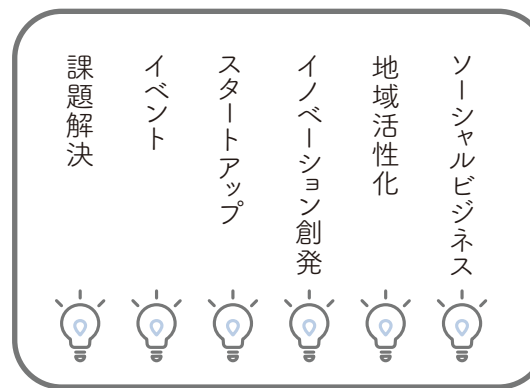
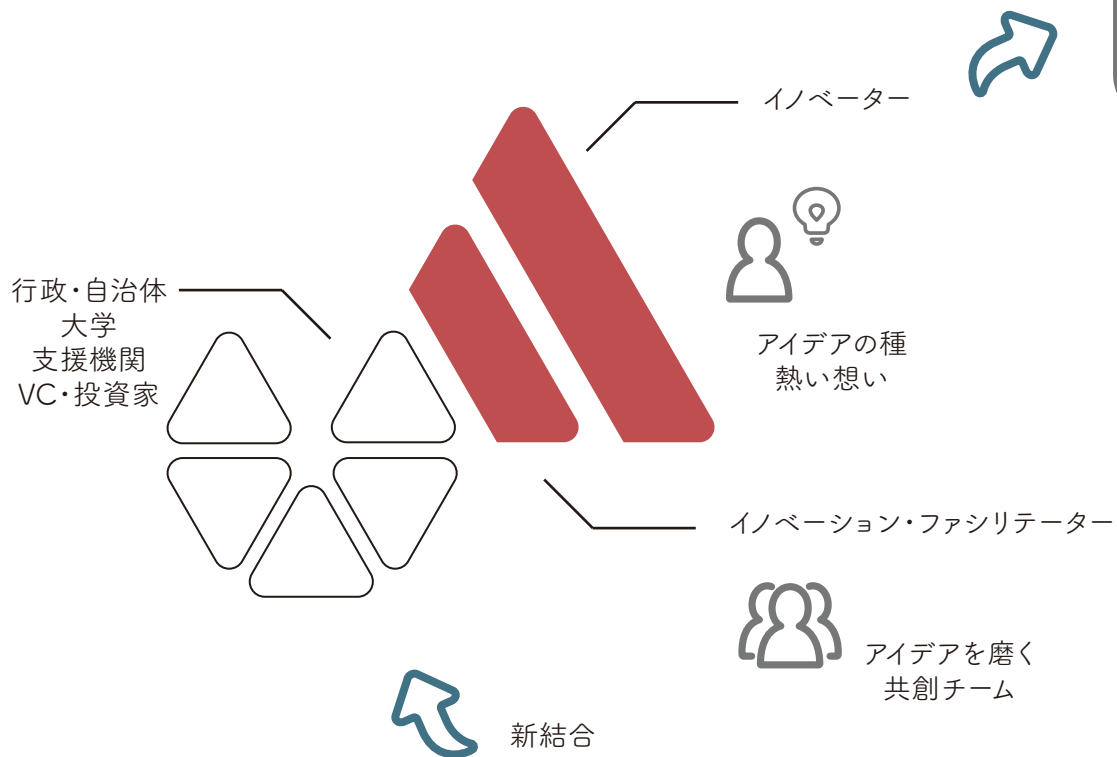
専門は管理会計と財務管理。特に中小企業における管理会計実務に関する研究を進めている。ゼミナールでは企業の創業から研究開発、戦略策定、販売と会計処理、監査といった経営の一連のプロセスを学習する「創業体験プログラム」をはじめとして、Project Based Learningを積極的に導入している。

現職着任後は, 起業体験を行うイベントStartup Weekend Fukuoka(オーガナイザー), 九州ニュービジネス協議会主催の未来創造経営塾(戦略論講義), 福岡市による商店街NEXTチャレンジャー事業(サポーター), 那珂川市にある私立福岡女子商業高校との高大連携講義(経営学の視点から販売実習「女子商マルシェ」での学びを高める)など, 大学生と地域との連携を図る取り組みを積極的に取り組んでいる。

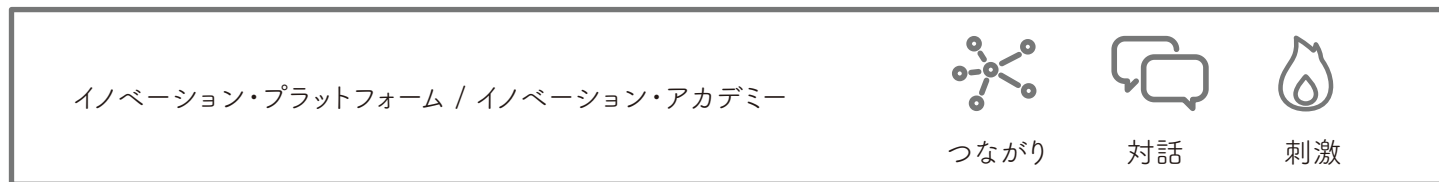
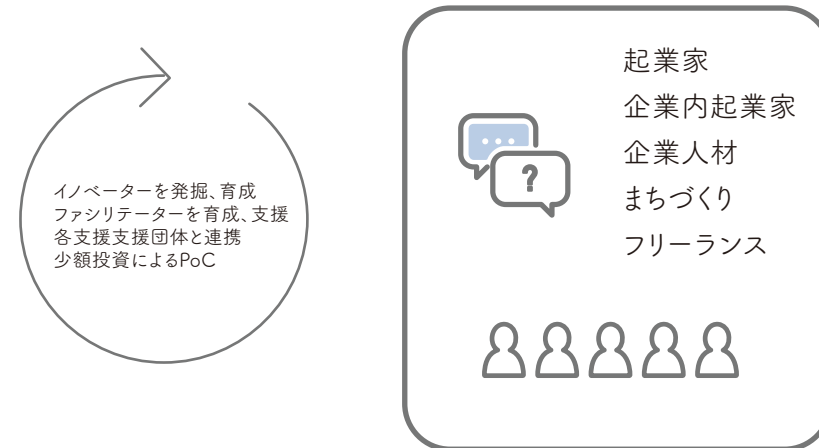
アイデアが生まれ、アイデアが広がる仕組み

---

イノベーション・エコシステム  
アイデアが生まれ、アイデアが広がる仕組み

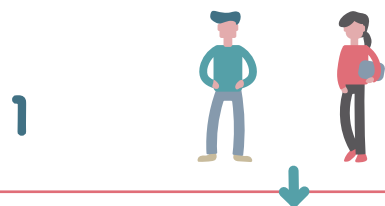


start here!



network

SCB理論-つながりの科学-を用いたP2Pネットワークを実現



起業家、企業のイノベーション担当者、チームリーダー、まちづくり、フリーランス、デザイナー  
デジタル社会をリードする20代～40代前半が中心

2 イノベーション・プラットフォーム/イノベーションアカデミー



イノベーション創発の学びのプログラム  
オンラインサロン  
オンライン動画講座



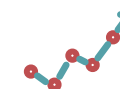
つながり



アイデア



新結合



new combination

3 PoC (アイデアコンセプトの実験や実証) での外部連携



イノベーター・・・アイデアの種をもち、熱い思いがある  
イノベーション・ファシリテーター・・・イノベーターの活動を支える共創チーム  
行政、大学、支援機関、VC投資家などアイデア段階から外部連携

4



スタートアップ



イベント



ソーシャルビジネス



課題解決



企業イノベーション

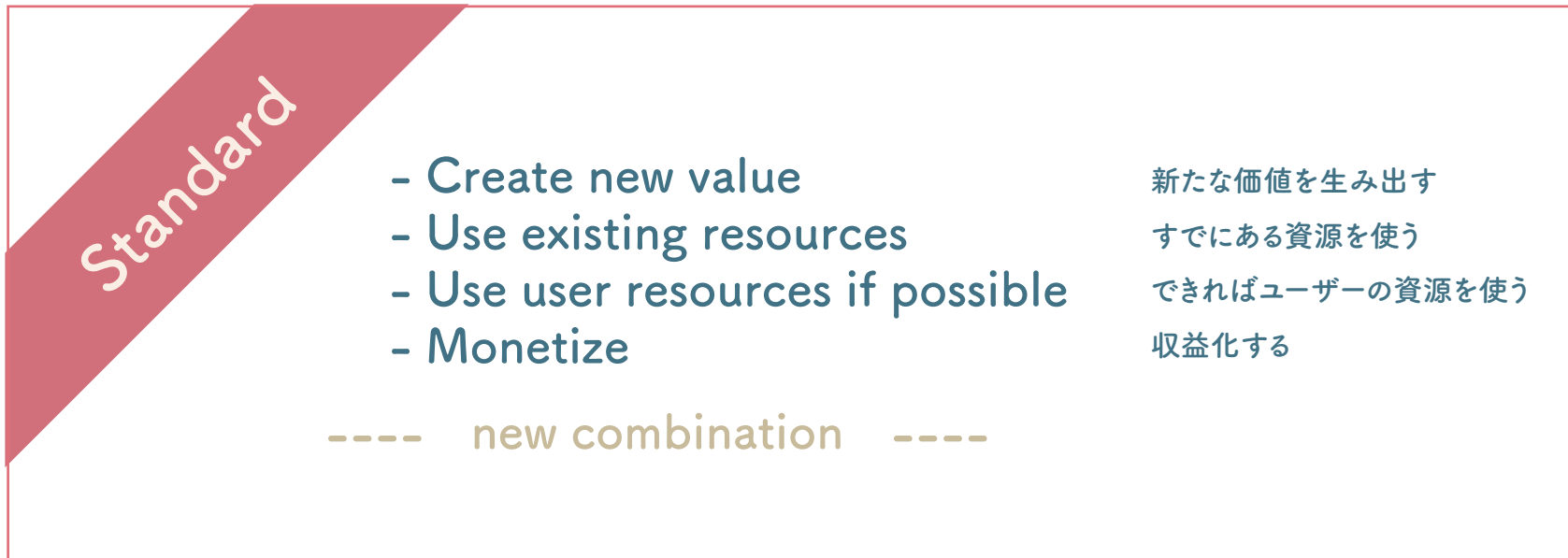


地域活性化

私たちの基準

---

## ICT理論 (P2P) で、すでにある資源をつなげ、新たな価値を生み出し、学びを実践し稼ぐアカデミア



### 企画書を書くために学んでいませんか？

価値を生み出すアイデアを見つけたら、そのアイデアの種を育て、実験・実証し、アイデアを広げていく活動が必要だと考えています。

しかし、その活動全てを一人で行うことは簡単ではないと思います。

多様な経験、価値観、技術をもつ人や資源（制約を含む）をアイデアの種を磨き、アイデアの実験・実証（PoC）を行うチーム作ることが大切だと思います。

## カリキュラムの紹介

---

“つながりを科学する”

---



## イノベーション創発手法・SCB理論

SCB理論:ブローカレス理論(P2P)を人的ネットワーク形成や地域コミュニティの構築に活用したイノベーションの手法を学びます。

本講座では、ICTを単なるツールとして活用することを目指すのではなく、ICTの理論や本質(エッセンス)そのものをイノベーションに活用することを目指します。

プラットフォームを導入することの有効性やプラットフォームの構築・運営方法などを学びます。

効率的なつながりを作るためには、地域資源のつながりを科学する(学術的に論ずる)必要があります。科学するための手段として、SCB理論で提案されている地域資源のつながりを「仮想化+体系化+可視化」する手法を学びます。

地域人材や地域資源(制約を含む)、IoT資源や教育資源などさまざまな資源をピアとして仮想化し体系的につなげ、可視化することにより「異分野イノベーション」を起こす手法を学びます。その他、企業におけるつながりの事例(ケースメソッド)などから活用する方法を考えます。

### ICT理論の本質(エッセンス)をイノベーションに活用

ICT



理論や本質



効率的なつながり  
異分野イノベーション

ツール利用



つながりを科学する  
地域コミュニティブランド  
- 2018/10/30  
星合隆成(著) 木楽舎

## 新結合の創発に向けて: 3つの学び

### 異分野融合イノベーション

異なる分野間での新結合による新たな価値観の創出  
ex) ICTと地域創生、ICTとアート、ICTと福祉など

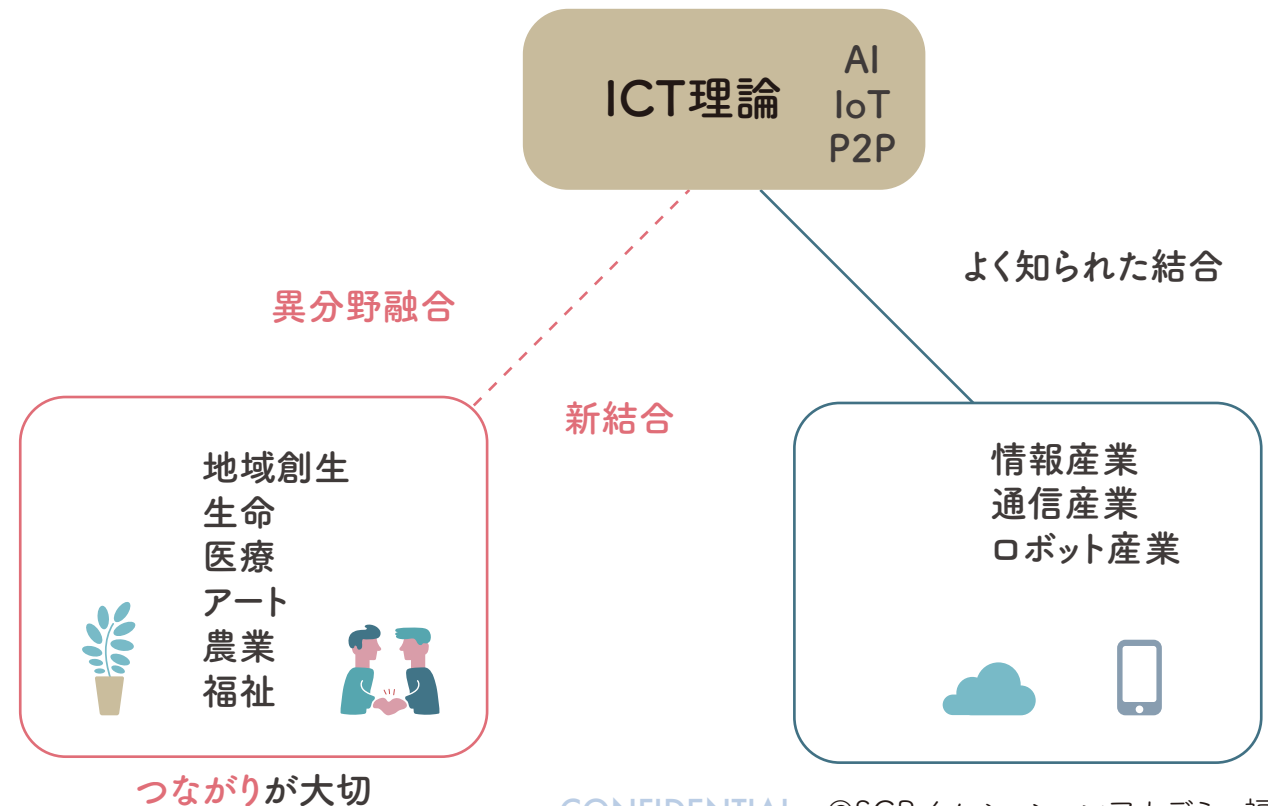
#### 3つの学び

- ICT理論 (第4次産業革命)
- 結合分野のモデル化手法
- 結合 (つながり) の手法・・・SCB理論

#### つながり (新結合) を科学することの効果

- つながりの高い再現性、持続性、汎用性を確保
- 低コストでつながりを実現
- 一過性の抑止

高再現性、高持続性のつながりを  
低コストで実現



## SCB理論:ブローカレス理論(P2P)を人的ネットワーク形成や地域コミュニティの構築に活用したイノベーションの手法

1998年に提唱された  
世界初の P2P 理論



新世代ネットワーク技術の全貌  
ブローカレスモデルとSIONet  
- 2003/7  
星合隆成 オーム社

人的ネットワーク形成や  
地域コミュニティ構築に活用



つながりを科学する  
地域コミュニティブランド  
- 2018/10/30  
星合隆成(著) 木楽舎

### クライアントサーバー型と P2P ??

Peer to Peer(ピア・トゥ・ピア または ピア・ツー・ピア)とは、複数の端末間で通信を行う際のアーキテクチャのひとつで、対等の者(Peer,ピア)同士が通信をすることを特徴とする通信方式、通信モデル、あるいは通信技術の一分野を指す。P2Pに対置される用語としてクライアント-サーバ方式がある。クライアント-サーバ方式ではネットワークに接続されたコンピューターに対しクライアントとサーバに立場・機能を分離しており、一般的には多数のクライアントに対してサーバが一つである。クライアントはサーバとだけ通信でき、あるクライアントが他のクライアントと通信するにはサーバを介す必要がある。

P2Pではネットワークに接続されたコンピューター同士が端末装置として対等の立場、機能で直接通信するものである。クライアント-サーバ方式ではクライアント数が非常に多くなると、サーバおよびその回線に負荷が集中するのに対して、Peer to Peer方式はその構造上、端末数が膨大になっても特定端末へのアクセス集中が発生しづらいという特徴がある。

## これまでの SCB 理論を用いた主な活動

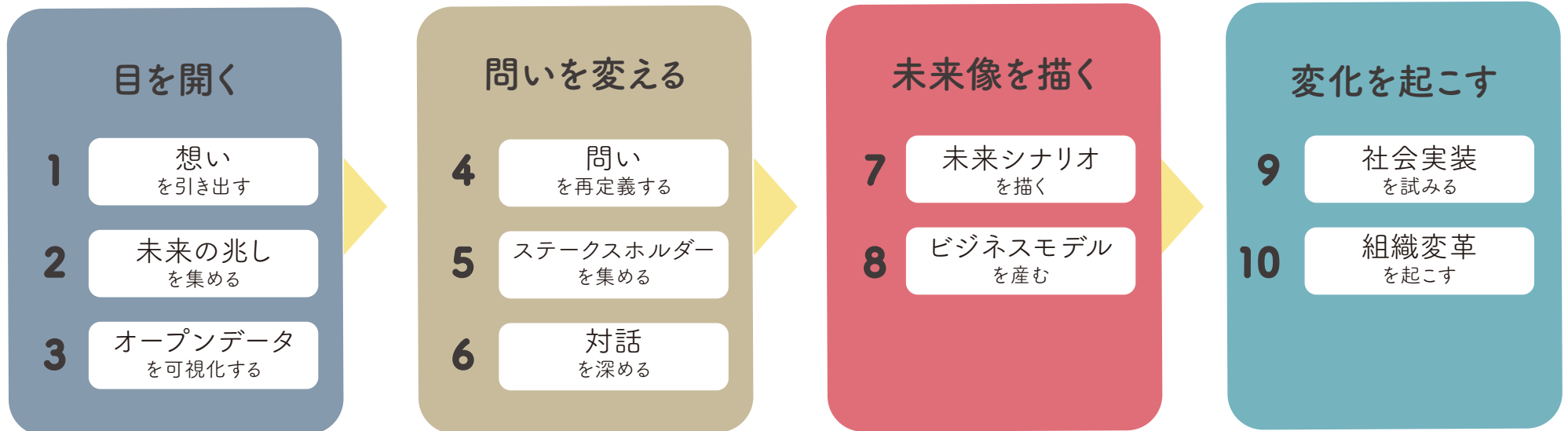
1. 地域メディアであるSCB放送局の運営 (J:COM九州、FM桐生他と連携)
2. 総務省地域ICTクラブ実証実験事業受託 (イノベーションアカデミーメンター育成) 総務省本省
3. 農水省組織改革プロジェクトにSCB理論が基本コンセプトとして採用 農水省本省
4. EUとのIoTサービス相互実証実験受託 (総務省Fed4IoTプロジェクト) 早稲田大学・総務省
5. 道の駅を用いた観光イノベーション事業受託 (道の駅ネットワーク・国土交通省・熊本県)
6. 福祉プラットフォーム構築事業受託 (熊本市社会福祉協議会・熊本市社会福祉事業団・熊本県)
7. 宇土市まちづくり地域活性化イノベーションにSCB理論を採用 (財務省九州財務局)
8. イノベーションアカデミー (ソフトバンク・フューチャーセッションズなど)
9. スマート駐車プロジェクト受託 (株式会社日本パースト)
10. SCBホンモノニツナガル～研究者による中高生向け最先端研究講義 (医療機関8団体)
11. イノベーションによる新コース設置 (崇城大学情報学部2020.4開校)
12. SCB理論を用いた地域創世プロジェクト 全国で約50プロジェクトが進行中

## イノベーションファシリテーター講座

イノベーションファシリテーターは、今まで解けなかった問題を「独自の視点の(前向きな)問い」に変換し、ステークスホルダーを広げて招き入れ、各自の想いを引き出す対話の場＝フューチャーセッションを推進していきます。セッションでは、兆しから広がる未来を描き、バックキャストिंगすることで変化を起こすビジネスアイデアを生み出します。最後には、それを社会実装すると同時に、自社がその新価値を創出できる組織になるための変革を仕掛けます。

本講座では、イノベーションファシリテーターに必要な、思想と手法を身につけます。

### イノベーションファシリテーション10のステップ



## 「イノベーターのための無料で始めるICTツール活用講座」

前期:

これからイノベーションを起こす人にとって、基礎的ICTツールを使いこなす事は必須で、更にAI・アナリティクスツールを活用することは大きな武器となります。

そんな、基礎的ICTツールとAI・アナリティクスツールの中から、無料で始められ、利便性の高いものや先進機能をなるべく手軽に体感できるツールを選び、一緒にセットアップして使い始めてみる事ができるハンズオン講座です。



特徴

・講座対象ICTツールのアカウント取得、環境設定を、持参されたPCへ設定するところから始めるので、持ち帰ってすぐ再度試してみたり、更に応用してみるなど、が可能となります。

・Windows環境での動作を確認しておりますが、一部を除いて基本的にPCのOSによらず実行可能な内容となっています。

対象ICTツール候補: Googleサービス、slack、Watson、Colaboratory、RStudio(R言語)、他

後期: 新規事業創発ワークショップを計画中

## 年間講義スケジュール

---

1～4W 日曜日開校 1コマ目 14:00-15:25 2コマ目 15:35-16:50

前期	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7
----	--------	--------	--------	--------

1W				
1	イノベーション創発・SCB理論①-④			
2	-----			
2W				
1	イノベーションファシリテーター基礎①-④			FSS
2	-----			
3W				
1	ICTツール、ビジネスアイデア、ビジネスプラン①-④			SB
2	-----			
4W				
1	サービスデザイン、デザイン、プレゼンテーション、ICT理論			
2	-----			

後期	2020.10	2020.11	2020.12	2021.1
----	---------	---------	---------	--------

1W				
1	イノベーション創発・SCB理論①-④			
2	イノベーション創発・SCB理論⑤-⑧			
2W				
1	イノベーションファシリテーター基礎①-④			FSS
2	イノベーションファシリテーター実践⑤-⑧			
3W				
1	ICTツール、ビジネスアイデア、ビジネスプラン基礎①-④			SB
2	ICTツール、ビジネスアイデア、ビジネスプラン実践⑤-⑧			
4W				
1	サービスデザイン、デザイン、プレゼンテーション、ICT理論			
2	サービスデザイン、デザイン、プレゼンテーション、ICT理論			

2020.8	2020.9
--------	--------

夏季特別プログラム（開校予定）

FSS

SB

2021.2	2011.3
--------	--------

冬季特別プログラム（開校予定）

FSS

SB

①-④、⑤-⑧は通期講座  
4w講座は単発での受講可  
特別講座は通期講座受講の会員のみ対象  
※5w日曜日はおやすみです



## 目的別プランの紹介

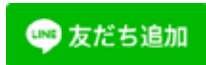
---

	スタンダード	ライト	ビジター	オンライン	法人プラン
	10.000 + tax	6.000 + tax	2.000 + tax	5.000 + tax	ASK
	4コマ/月	2コマ選択/月	1コマ選択/月		4コマ/月 3名
	○	○	○	=	○
	○	○	=	○	○
	○	○	=	○	○
夏季・冬季特別講座	○	○	=	○	○
コンサルティング	=	=	=	=	○
資金調達支援	○	○	=	=	○

夏季・冬季特別講座は別料金です。資金調達支援は別途手数料。

お問い合わせは、下記LINEかメールにて承ります。

LINE



mail [fukuoka@scb-innovation.academy](mailto:fukuoka@scb-innovation.academy)

運営法人  
株式会社イノベーションアカデミー福岡  
代表取締役社長 矢野裕樹  
812-0008  
福岡市博多区東光2-22-30 UWAYABASE内